



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	川副クラブ	H	○6-2	第49回九州サッカーリーグ開幕、おめでとうございます。今大会が開催されることを嬉しく思います。 初戦の川副クラブ戦では、しっかりと得点が取れ、勝つことができましたが、失点の取られ方や取られた時間に課題がみられる試合となりました。 チームで話し合い、改善を試みて挑んだ第2戦のNIFS KANOYA FC戦でしたが、やはり立ち上がり失点をしてしまいました。 その後、追いついたのですが、すぐさま追加点を与えてしまいました。
2	NIFS KANOYA FC	A	●1-2	沖縄2連戦で同じような課題が浮き彫りになりました。次戦までにしっかりチーム内で課題解決を行い、勝ち点を積み上げていけるように頑張りたいと思います。 最後に、コロナ禍の中、開幕に向けて素晴らしいグラウンドを用意して頂いたり、運営をして頂いたり大変お世話になりました。沖縄県サッカー協会の方々に感謝申し上げます。 また、社会人部会の方々には熊本から応援に来て頂いたり、差し入れをして下さったりとありがとうございました。 今年度も必死に頑張りますので、引き続き応援のほど宜しくお願いします。
3	日本製鉄大分	H	中止	
4	海邦銀行SC	A	●0-2	九州リーグ4節、海邦銀行戦でした。 前節の早い時間帯に失点したことを改善するため、守備の修正を行い挑みました。その結果、前半はスコアレスで折り返すことができました。 しかし、後半に自分たちのミスから失点。その後さらに失点を重ね敗戦しました。 次の試合まで期間が空くので、今回の敗戦を振り返り、チームで改善して次戦では勝ち点を積み上げることができるよう頑張ります。 対戦いただいた海邦銀行さま、並びに沖縄県サッカー協会さま、素晴らしいグラウンドを用意していただきありがとうございました。
5	試合なし			
6	ジェイリースFC	A	●0-3	前半のセットプレー、後半の自分たちのミスで失点を重ね、また、得点も奪えず悔しい敗戦となりました。 なかなか結果が出ず、アウェイでの苦しい試合が続きますが、ここが踏ん張りどころ。チーム一丸となってまた頑張ります。 試合に際して、対戦、運営していただいたジェイリースFC様、審判団等関係者の皆様、ありがとうございました。
7	佐賀LIXIL	A	○4-2	前半は早い時間に得点し、追加点も上げ、優位に試合を進めることができました。 後半は相手がロングボールを多用したことにより苦しい展開が続く、失点をしましたが、その後は集中を切らさず勝利することができました。 次節はホーム開幕戦になりますので、チーム一丸となって運営・試合を頑張りたいと思います。 今回対戦していただいたLIXIL様、審判団等関係者の皆様、ありがとうございました。お世話になりました。
8	ヴェロスクロノス都農	H	●2-5	ホーム開幕戦、vs ヴェロスクロノス都農でした。 前半に失点を重ねてしまいましたが、1点を取り返し1-2となり、いい流れで前半を折り返しました。 しかし、後半飲水タイムまでにまたもや失点を重ねてしまい、1-4。 その後前線からの守備を強め、カウンターから1点を取り返しましたが、終了間際に失点し、2-5で試合終了となりました。 上位に残るためにも勝点がほしい試合でしたが、残念な結果となってしまいました。 残り3試合、勝点を重ねて九州社会人選手権杯を取れるように頑張ります。 ホーム開幕にあたり、色々な配慮にご協力頂いた対戦相手のヴェロスクロノス都農様、差し入れだけでなく、ボールパーソンもして頂いた熊本県社会人部会の方々、深く御礼申し上げます。



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
9	沖縄SV	A	● 0 - 4	前半に自分たちのミスから失点をしてしまいましたが、その後はブロックをしっかり作って守備をすることができました。 後半はチャンスもありましたが決め切ることができず、後半飲水タイムが明けてからミドルシュートで失点し、その後も追加点を与えてしまいました。 自分たちのやりたいサッカーができていただけに悔しい結果となってしまいました。 次週は前期最後の集中開催での試合となります。2試合しっかり戦い、後期に繋げたいと思います。 最後に対戦、運営いただいた沖縄SVさま、素晴らしいグラウンドを用意していただき感謝致します。
10	FC中津	A	● 1 - 4	九州リーグ第10節、FC中津戦でした。前期4位以内には負けられない戦いでした。 引いて守る相手に中盤で奪われ、カウンターから前半早々に2失点、さらに前半終了間際にまたしてもカウンターから失点をし、0-3で折り返しました。 後半は1点を取り返しましたが、結果は1-4で負けました。これで前期4位以内の可能性は無くなりました。
11	九州三菱自動車	H	● 2 - 3	後期はこの悔しい思いを晴らすためにも、もう一度チームの戦術を精査し、チーム間での共通理解をしっかりと図り、前期よりもいい成績を残せるようにしたいと思います。 最後に対戦、運営いただいた中津FCさま、大分県サッカー協会さま、素晴らしいグラウンドを用意していただき感謝致します。
12	川副クラブ	A	● 1 - 2	後期の開幕は厳しい幕開けとなりました。なかなか人数が揃わない中、若手を起用して挑んだ2戦でした。 土曜日の川副クラブ戦では、GKとDFの連携ミスから失点し、後半終了間際に1点を取り返したのですが、そのまま敗退。 日曜日のNIFS KANOYA FC戦では、サイドの守備の連携ミスから失点し敗退。 どちらの試合も自分たちの連携ミスから失点をして負けてしまいました。これでリーグ戦6連敗となりました。
13	NIFS KANOYA FC	H	● 0 - 1	次戦はホームゲームとなりますので、何としてでも勝点を取れるよう、もう一度自分たちのサッカーを突き詰め、全力で挑みたいと思います。 最後に対戦いただいた2チームの皆様、審判団の皆様、そして運営して頂いたヴェロスクロノス都農様並びに宮崎県サッカー協会の皆様、ありがとうございました。 お世話になりました。
14	日本製鉄大分	A	中止	